

日本社会事業大学 社会福祉学部 共生社会デザイン学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
石川 義浩 教授	日本の社会保障制度について	日本の社会保障制度を概観する	社会保障	講義	対面でもオンラインでも可
梶原 洋生 教授	福祉と人権 —「困っている人」を助けるのは“優しさ”だけ？	次のことをできるようにします。 ①福祉を「かわいそうな人への支援」ではなく、人権を守る仕組みとして説明できる ②身近な場面(学校・家庭・地域)で“人権が守られていない状態”を見つけられる ③「自己責任」だけで片づけず、社会のしくみ(制度・環境)の視点で解決案を考えられる	福祉、人権	講義	対面のみ
田村 真広 教授	小・中学生と「ふくし」を探究しよう	教育方法学×教科教育学×認知科学の基本の「き」を習得して、高校生が主体となって小・中学生向けの「ふくし」探究学習を実施できるよう道案内をします。導入・事前・事後のどの段階で「案内」するかをカスタマイズします。	小・中・高校、福祉学習、主体的・対話的で深い学び	演習	対面でもオンラインでも可
田村 真広 教授	15歳からの自分事「福祉」の学び	福祉を自分事としてとらえるには、福祉サービスを活用してウェルビーイングを実現するイメージを養うことが求められます。自分や仲間のニーズを知り、バリアを越え、福祉サービスにつながる学びを体験します。内容と方法は事前アンケートなどによりカスタマイズします。	高校生、自分事、福祉サービス	講義	対面でもオンラインでも可
賛川 信幸 教授	精神障害者支援における心理教育	「支援」という言葉からは、「支援する側—される側」という一方向的な構図がイメージされやすいですが、福祉における支援では、人が本来持っている力を取り戻し、主体的に自分自身の人生を歩んでゆけるよう応援することを大事にします。精神障害者に対する支援の一つの方法に心理教育があります。精神障害者が経験する生活上の困難に対し、心理教育がどのように役立つのか学ぶことをとおして、福祉における精神障害者支援のあり方を考えます。	精神障害、福祉、心理教育	講義	対面でもオンラインでも可

日本社会事業大学 社会福祉学部 共生社会デザイン学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
費川 信幸 教授	理論と根拠と実践知の循環的対話 ～共生社会をデザインするアプローチ～	孤立、貧困、障害、偏見・差別などにより機会や権利が制限されたり抑圧されている人たちに対して、どのような社会のあり方や支援が有効であるのかを考え、創出するためのアプローチ法を扱います。根拠に基づく実践(EBP)が必要とされるなかで、科学的な根拠と福祉実践による”知”を統合して課題解決に役立つプログラム理論の仮説を構築し、また実践知と根拠の対話を繰り返しながら理論を改善してゆくという、共生社会の構築につながると思える一つの方法を学びます。	共生社会デザイン、科学的根拠に基づく実践(EBP)、プログラム評価	講義	対面でもオンラインでも可
菱沼 幹男 教授	ボランティア活動と地域づくり	ボランティアの基本的性格をふまえ、地域課題の解決に向けたボランティア活動について考えます。	ボランティア、NPO、有償助け合い活動、地域づくり、	講義、演習	対面でもオンラインでも可
菱沼 幹男 教授	優生思想の歴史と今	優生思想が生まれてきた背景と虐殺の歴史に焦点をあて、さらにやまゆり園事件がなぜ起きたのかを掘り下げ、私達は内なる優生思想にどう向き合っていけばよいのか考えます。	優生思想、社会ダーウィニズム、ナチスドイツの障害者安楽死計画、優生保護法、やまゆり園事件	講義、演習	対面でもオンラインでも可
菱沼 幹男 教授	高齢者の孤立死をなくすために	高齢者の孤立死の現状と対策を踏まえて、孤立をなくすために必要な取り組みについて考えます。	孤立死、孤独死、見守り・声かけネットワーク、居場所、友愛訪問	講義、演習	対面でもオンラインでも可
菱沼 幹男 教授	認知症の人も安心して暮らせる地域に	認知症の人の現状と対策を踏まえて、認知症があっても地域の一員として暮らしていける地域について考えます。	認知症、認知症基本法、認知症サポーター養成講座、チームオレンジ、	講義、演習	対面でもオンラインでも可

日本社会事業大学 社会福祉学部 共生社会デザイン学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
菱沼 幹男 教授	差別や排除のない社会に向かって	今日的な差別や排除の問題を取りあげ、どうしたら差別や排除をなくしていけるかを考えます。	ソーシャルエクスクルー ジョン(社会的排除)、 ソーシャルインクル ジョン(社会的包摂)、福 祉教育、ヒューマンライ ブラリー	講義, 演習	対面でもオンライン でも可
菱沼 幹男 教授	地域福祉とコミュニティソーシャルワーク	コミュニティソーシャルワークとは何か、その視点や方法とともに、コミュニティソーシャルワ ーカーの仕事内容について紹介します。	コミュニティソーシャ ルワーカー、社会福祉協 議会、地域共生社会、制度 の狭間、住民参加	講義	対面でもオンライン でも可
上村 勇夫 准教授	障害者雇用と共生	「障害者雇用」をご存じですか？昨今、障害のある人たちが企業で活躍しています。どのような工 夫、支援が行われているか？障害の有無関係なく、試行錯誤をしながらともに働く面白さについ てお伝えします。	障害者雇用、共生、働く	講義, 演習	対面のみ
上村 勇夫 准教授	アワビさん一家を支えよう！ ～多様な場で活躍しているソーシャルワーカー～	アワビさん一家が生活苦で大ピンチに！そこで様々な職場で働くソーシャルワーカーが登場！ ソーシャルワーカーがどのように関わり、問題が解決していくのか。なるべくリアルにお伝えしま す。	ソーシャルワーカー、生 活苦、支援	講義, 演習	対面のみ
上村 勇夫 准教授	「普通」って何？「障害」って何？	「普通、そんな〇〇はしないよ。」といったように、何気なく使っている「普通」という言葉。言葉が 人を傷つけることもあります。では、「普通」って何？同じように、何気なく使われている「障害」 「障害者」とは？改めて考えてみましょう。	言葉の定義、普通、障害	講義, 演習	対面のみ

日本社会事業大学 社会福祉学部 共生社会デザイン学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
大崎 裕子 准教授	意識調査データからみる分断社会	社会の現状や制度・政策のあり方について、どのような人々がどのように考えているのか、そしてどのような分断が生じているのかを意識調査データから探ります。	社会意識, 社会調査, データ分析, 分断社会	講義	対面でもオンラインでも可
倉持 香苗 准教授	コミュニティカフェを中心に地域で支え合う関係をつくるヒケツ	コミュニティカフェ、居場所、サロンなど、地域には様々な拠点があります。利用者層が限定されている場所、誰でも利用できる場所など様々です。それでは、場所を開設するだけで利用者や地域住民が知り合い、支え合うようになるのでしょうか。地域共生社会が推進されている今日、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して、どのようなソーシャルワーク実践が必要なのか？何故こうした地域拠点が必要なのか考えながら、コミュニティカフェを中心としたまちづくりについて、福祉の視点から捉えていきます。	地域共生社会、地域福祉、ソーシャルワーク、コミュニティカフェ、居場所、地域づくり、地域拠点	演習	対面でもオンラインでも可
佐々木 貴雄 准教授	なぜソーシャルワーカーは社会保障を学ぶ必要があるのか	社会保障制度は国民の生活を保障するものですが、制度が非常に複雑であることから、制度を知らない人も多く、受給漏れなどが発生しています。ソーシャルワーカーには、利用者の権利を守り、生活を支えるためにも、複雑な社会保障制度を理解したうえで、情報を必要な人に届け、適切な支援につなぐコーディネーターとしての役割が求められています。	社会保障 申請主義 権利擁護 生活保障	講義	対面でもオンラインでも可
佐々木 貴雄 准教授	所得再分配の方法としての社会保障と税	病気や失業、老後など、誰もが直面しうるリスクに備えて、私たちは社会保険料や税を負担し、必要ときに給付を受け取る仕組みがあります。この制度には所得再分配の機能があり、社会全体の格差を縮小させています。近年は、給付付き税額控除など、税制を用いた新しい再分配の仕組みが議論されようとしています。これらの仕組みを理解し、その是非について検討してみたいと思います。	社会保障 税 給付付き税額控除	講義	対面でもオンラインでも可
永嶋 昌樹 准教授	ヤギと子どもと福祉	なぜ日本社会事業大学でヤギを飼っているのかを話します。ヤギに直接触れます。	ヤギ、コミュニケーション、地域交流	演習	対面のみ

日本社会事業大学 社会福祉学部 共生社会デザイン学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
永嶋 昌樹 准教授	農福連携・園芸療法と世代間交流	農作業や園芸を通じた世代間交流について説明します。	野菜作り、老人クラブ、 里孫活動	講義	対面のみ
デバコタ ジバナト 講師	ネパールと日本の文脈における教育プログラムと社会行動	時間、労力、お金がかかりますが、より良い教育プログラムは経済と社会福祉を向上させることができます。	教育プログラム、社会行動	講義	対面のみ

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
相原 朋枝 教授	社会とつながるアート活動	アートで社会とつながる、さまざまな試みや実践について説明します。	アート	講義	オンラインのみ
有村 大士 教授	こどもまんなか社会と子ども・家庭ソーシャルワーク	こども家庭庁を中心とした施策や社会の動きとその背景、子ども・家庭領域のソーシャルワークの実践について	こどもまんなか社会、こども家庭庁、ソーシャルワーク、子ども家庭福祉	講義	対面でもオンラインでも可
内田 宏明 教授	スクールソーシャルワークとは何か？	スクールソーシャルワークの基礎的内容を理解する	スクールソーシャルワーク	講義	対面でもオンラインでも可
内田 宏明 教授	社会福祉って何だろう	社会福祉とは何か、歴史、理念、事例から解説する	社会福祉 歴史 理念 事例	講義	対面でもオンラインでも可
内田 宏明 教授	ソーシャルワーク面接の方法	ソーシャルワーク面接の方法	ソーシャルワーク 面接	演習	対面のみ

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
内田 宏明 教授	不登校の子ども家族の支援	スクールソーシャルワーカーがどのように不登校の子ども及び家族を支援するのか解説する	不登校 支援 スクール ソーシャルワーク	講義	対面でもオンライン でも可
内田 宏明 教授	地域における子どもの居場所づくりの意義と方法	ソーシャルワーカーが地域において子どもの居場所を創出する意義とその方法について解説する	子どもの居場所 ソー シャルワーク	講義	対面でもオンライン でも可
小原 眞知子 教授	治す、その先へ ― 医療と社会福祉のつながり	病気やけがは、治療が終わればすべて解決するわけではありません。退院後の生活、学校や仕事への復帰、家族との関係など、治療の「その先」にも多くの課題があります。医療は身体を治すのが目的ですが、社会福祉は人の生活や社会とのつながりを支える役割を担っています。本講義では、医療と社会福祉がどのように連携し、一人ひとりの「生きる」を支えているのかを、実際の現場の例を通して紹介します。人を支える仕事の広がり、その意義について一緒に考えていきます。	病気、医療制度、福祉 サービス	講義	オンラインのみ
木村 容子 教授	自己覚知の必要性～人それぞれの観方とその背景にあるもの	人の生活上の困り事への支援において、その人の生き方や生活で何が起きているのか、どうありたいのか等々を、その人の観方や価値観などを踏まえて把握していくことが大切です。そのためには、“では、自分はどうなのか？”を知る必要があります。人を受け容れるためには自他の区別がなければならないのです。自分のものの観方やその価値観、そしてそれらをつくっている背景について、見つめてみましょう。	ソーシャルワーク 自己 覚知	演習	対面でもオンライン でも可
木村 容子 教授	“聴く”ということ	ソーシャルワーカーは、利用者の生活上の困り事について、利用者さんの話に耳を傾け、何が起きているのかどのような生活状況なのか等々をしっかりと把握していかねばなりません。しかしながら、“聴く”ということは、これがなかなかむずかしいものなのです。聴き手は、話し手の話をどのようにキャッチしていくのか等々、面接技法について体験的に学びます。	ソーシャルワーク 面接 技法	演習	対面でもオンライン でも可

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
森 千佐子 教授	対象者の特性に応じたコミュニケーションの方法	視覚障害や聴覚障害など、障害のある人とのコミュニケーション技術について学習します。	障害 コミュニケーション技術	講義, 演習	対面のみ
森 千佐子 教授	高齢者の健康課題 ～フレイルって何？～	高齢者に多い健康課題について学習します。特に、健康な状態と介護が必要な状態の中間の段階に位置付けられている「フレイル」とその予防について、一緒に考えましょう。講義に体験学習を含めます。オンラインの場合、体験学習の内容は削除します。	加齢、高齢者、フレイル、フレイル予防	講義, 演習	対面でもオンラインでも可
森 千佐子 教授	生活を支援する福祉用具・機器の活用	高齢者や障がいのある人の移動や食事、入浴などの日常生活動作をサポートする福祉用具・機器について学習します。自助具、リフト、マッスルスーツなどの福祉用具・機器を体験を含めます。	生活支援、福祉用具、福祉機器、介護ロボット	演習	対面のみ
ヴィラーグ ヴィクトル 准教授	ソーシャルワークの特有の視点と力	他の対人援助専門職と比べて、社会福祉専門職がもつ特有の人間観・問題観・支援観の基本について把握する。その中で、ミクロ(個人)からメゾ(地域社会)を通じてマクロ(社会全体)、時にはグローバル(全世界)のレベルまでつながる広い視野と支援方法を含む可能性について一緒に考える。これらを踏まえて、生きづらい現代社会を誰にとってより生活しやすい共生の方向に変えるソーシャルワークの期待や展望について共有する。	ソーシャルワーク	講義	対面でもオンラインでも可
ヴィラーグ ヴィクトル 准教授	アイヌ等の先住民の理解とソーシャルワーク	生住民について基礎的な概念整理と社会福祉・ソーシャルワークにおける枠組み的な理解を経てから、日本のアイヌが置かれてきた社会的な文脈について把握する。それを踏まえて、日本のアイヌを含む先住民が直面しやすい社会的な課題について紹介し、必要な支援、特にソーシャルワークの実践原則について、実践例を含めて学ぶ。	先住民	講義	対面でもオンラインでも可

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
ヴィラーグ ヴィクトル 准教授	LGBTQ等の性的少数者の理解とソーシャルワーク	LGBTQ等について基礎的な概念整理と、性的マイノリティの社会福祉・ソーシャルワークにおける枠組み的な理解を経てから、人口規模などについて把握する。それを踏まえて、LGBTQ等の性的マイノリティが国内外で直面しやすい社会的な課題について紹介し、必要な支援、特にソーシャルワークの実践原則について、統計データを含めて学ぶ。	LGBTQ+	講義	対面でもオンラインでも可
宇野 耕司 准教授	子どもの福祉心理学:乳幼児揺さぶられ症候群 0 歳児の虐待防止について考える	乳幼児揺さぶられ症候群を題材に、0歳児の虐待防止の必要性と、どのような支援が必要かを検討します。4人グループをつくってディスカッションをします。心理、福祉、保育、看護などに関心のある生徒さんを対象にしています。	乳幼児揺さぶられ症候群 児童虐待 親支援 グループワーク アクティブラーニング	演習	対面でもオンラインでも可
宇野 耕司 准教授	心理実験—自分の記憶に自信があるか？	さまざまな対人援助のベースとなっている心理学。そのなかに記憶に関する研究があります。記憶と言え、試験勉強で多くのことを覚えなければなりませんね。この演習では記憶法を伝授します。さらに、記憶の「危うさ」についても演習を通して学びます。生徒にスマートフォンの持ち込みを許していただければ、双方向的な演習を展開できます。心理、福祉、保育、看護などに関心のある生徒さんを対象にしています。	記憶 記憶法 虚記憶 心理学	演習	対面でもオンラインでも可
宇野 耕司 准教授	子どもたちの幸せを守ろう！誰でもできる！ オレンジリボン運動(児童虐待防止啓発活動)	子ども家庭福祉分野では児童虐待の未然防止、早期発見、再発防止が重要な課題となっています。講義では、子どもたちにとっての幸せを実現するためにどうすればよいかを考えます。具体的には、児童虐待の未然防止と子どもの権利保障を実現するのに役立つオレンジリボン運動を理解します。オレンジリボン運動の実践を知ること、児童虐待防止への関心を高め、自分にできることが何かを考えます。心理、福祉、保育、看護などに関心のある生徒さんを対象にしています。	児童虐待 オレンジリボン運動 ソーシャルアクション 福祉	講義	対面でもオンラインでも可
大部 令絵 准教授	障害について体験的に学ぼう	障害を疑似的に体験するワークをまじえ、障害とはどのような状態を意味するのか、障害のある人に対する支援を考える上でのポイントとして何が挙げられるか、について学びます。	疑似体験、ペアワーク、障害者支援、合理的配慮	演習	対面のみ

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
大部 令絵 准教授	障害のある人に対する支援について考えよう	障害の特性を理解し、当事者にあわせた支援をすることが大事であることを体感してもらうワークに取り組みます。	疑似体験、個人ワーク、障害者支援、合理的配慮	演習	対面のみ
大部 令絵 准教授	人に対する印象と支援との関係性は？	社会の現状や制度・政策のあり方について、どのような人々がどのように考えているのか、そしてどのような分断が生じているのかを意識調査データから探ります。	グループワーク、ソーシャルワーク、印象形成、偏見	演習	対面のみ
亀崎 美沙子 准教授	保育を基盤とした子育て支援	保育士が日常の保育と一体的に展開する子育て支援について学びます。	保育、子育て支援、保育士	講義	オンラインのみ
新藤 健太 准教授	「本当に“支援”は人を助けているのか？」：ソーシャルワークと評価の視点から考える	困っている人を助ける活動はたくさんあります。しかし、「助けているつもり」でも本当に役に立っているとは限りません。本授業では、ソーシャルワークの基本的な考え方とともに、「効果とは何か」「どうすれば社会が良くなったと言えるのか」を考えます。感情だけではなく、根拠やデータに基づいて社会をよりよくする方法を紹介します。なお、本授業は、子ども・若者支援、障害福祉、高齢者福祉、介護など、学校の関心や生徒の探究テーマに応じた具体的事例を用いて実施することが可能です。	ソーシャルワーク／プログラム評価／社会的インパクト／エビデンス／データサイエンス	講義、演習	対面でもオンラインでも可
新藤 健太 准教授	「“できない人”なんていない？」：強みに注目するソーシャルワーク	福祉の世界では、困っている人の「弱さ」に注目するのではなく、「強み(ストレングス)」に注目する支援の考え方があります。本授業では、ストレングスモデルの考え方を紹介しながら、「支援とは何か」「人の可能性を見るときはどうか」を考えます。この考え方は、子ども・若者支援、障害福祉、高齢者福祉など、あらゆる分野に応用可能です。対象分野は学校のご要望に応じて調整いたします。	ストレングスモデル／エンパワメント／自己肯定感／ソーシャルワーク／可能性	講義、演習	対面でもオンラインでも可

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
新藤 健太 准教授	「“正しさ”は誰が決めるのか？」 :支援の評価と社会的インパクトを考える	「この支援は成功した」とは誰が決めるのでしょうか。本授業では、支援の“正しさ”をどのように判断するのかを考えます。評価の基準や価値観の違いに着目し、「効果とは何か」「社会的インパクトとは何か」を探究します。 具体例は、子ども・若者支援、障害福祉、介護分野などに応用可能であり、学校の探究テーマに応じて内容を調整いたします。	評価基準／社会的インパクト／価値観／批判的思考／公共性	講義, 演習	対面でもオンラインでも可
冨永 健太郎 准教授	社会福祉の始まり ー近代社会と施設ー	人間が労働可能な人間とそうでない人間を分類し、施設に収容することから近代社会は始まった。真の地域共生社会を実現するために、施設の誕生と変遷について再考する。	近代社会、宗教改革、労働(力)、救貧院、養育院、障害、人間	講義	対面でもオンラインでも可
永嶋 昌樹 准教授	援助が必要な人を介助・支援することの歴史	有史以前から現在までの介護の歴史を学びます。	介護 介助 高齢者 障害者(児)	講義	対面でもオンラインでも可
永嶋 昌樹 准教授	あまり知られていない介護の歴史	先史時代から江戸時代までの介護の歴史についてお話しします。	ネアンデルタール人、縄文時代、養老令	講義	対面でもオンラインでも可
小谷 恵子 講師	ジェロントロジー入門	高齢者の心の理解のために必要な基礎知識を学びます	正しい高齢者像 生涯発達 高齢期の社会交流	講義, 演習	対面でもオンラインでも可

日本社会事業大学 社会福祉学部 ソーシャルワーク学科

教員名	模擬授業タイトル	内容	キーワード	授業形式	授業方法
小谷 恵子 講師	認知症について学ぼう	認知症になっても心豊かに安心して暮らせる社会を目指す上で大切なことについて学びます。	認知症 地域包括ケアシステム	講義, 演習	対面でもオンラインでも可
二神 麗子 講師	日本にあるもう一つの言語 —日本手話と聾者の文化を知ろう—	日本手話は日本語を手指で表したのではなく、独自の文法を持つ一つの「言語」であることを学ぶ。日本手話の実技も交えながら、ろう者の文化や歴史に触れる。	日本手話、聾者、言語、文化	演習	対面でもオンラインでも可
二神 麗子 講師	大学で学ぶ障害学生支援 —誰もが学べるキャンパスづくり—	日本社会事業大学における「障害学生支援室」の立ち上げや運営の経験を基に、高等教育における合理的配慮について考える。障害の有無に関わらず、共に学ぶための環境整備の重要性を、学生支援の最前線から伝える。	合理的配慮、情報保障、アクセシビリティ、学生支援	講義, 演習	対面でもオンラインでも可
二神 麗子 講師	福祉のプロになるということ —社会福祉士・手話通訳士のキャリアを元に—	自身のキャリアパス(日本社会事業大学卒業、大学院進学、専門職としての活動)を紹介する。現場で求められる「相手に寄り添う感性」について、高校生の進路選択に役立つメッセージを伝える。参加者との座談会形式で実施する。	社会福祉、障害者福祉、高等教育機関での学び、キャリアデザイン	講義, 演習	対面でもオンラインでも可